



オムスワはOkayama Medical Social Worker Association の頭文字の略語です。

岡山県医療ソーシャルワーカー協会事務局：玉島病院内 倉敷市玉島乙島4030 <http://www.omswa.org>



新年度になりましたが、いかがお過ごしでしょうか  
コロナ禍でもありますし、季節の変わり目ゆえ、どうぞご自愛くださいますように



## 研修報告

### ～指導者コース研修 2021年2月13日～

「セルフ・ピアスーパービジョン～到達度モデルの活用～」をテーマとした研修に参加しました。参加にあたり、自分が過去に経験したスーパービジョンの内容をもとに、その時のバイジーの目標や目標達成の手段、課題、評価などを振り返ってプレゼンテーション資料を作成しました。当日は、振り返りの内容をグループ内でプレゼンテーションした上で教育的スーパービジョンのあり方やバイジーとの関係などをテーマにグループワークを行いました。

今回の研修を通して、スーパービジョンについて理解を深めるだけでなく、各施設のスーパービジョンの方法や工夫について情報交換をすることが出来、当院の教育体制を見つめ直す良い機会を得られました。また、参加者の皆さんとディスカッションする中で、私自身新人時代には自分のことに必死で気付かなかっただけで、先輩方が熱い思いを持って指導してくださっていたのだなということに気づき、改めて感謝の気持ちがこみ上げてきました。

今後は、他院での取り組みも参考に、自分自身が後輩に対してより良いスーパービジョンを行えるよう努めていきたいと思えます。

岡山済生会総合病院 上岡 あゆみ

### ～基礎コース研修を終えて～

入職してから3年間の基礎コース研修は、とても充実した時間であると共にあっという間だったと感じています。アセスメント方法や記録の書き方、ソーシャルワーカーの視点や役割についてなど、丁寧なご指導を頂きました。また、他院のソーシャルワーカーと行った事例検討では、ケースを振り返ったり、新たな気づきを得たりと大変有意義な時間でした。

3年目は新型コロナウイルス感染症の影響により、顔を合わせた研修は難しい状況でしたが、協会理事・運営委員の皆様にごオンラインでの研修開催を行っていただきました。形は変わりましたが、研修が絶えることなく開催され、参加できた事は大変嬉しく思います。制限のある中でも企画・運営して下さった事への感謝を忘れず、今後も自己研鑽に努めていきたいと思えます。

岡山大学病院 桐山 陸

### ～全体研修 実践報告会 2021年3月13日～

3名の実践報告を聞き、ソーシャルワーカーの専門性とは何か、何を大切に患者さんと関わっていくべきなのかを改めて考える機会となり、またその後のグループワークでも日々の業務の中での葛藤や感じていることなどを共有することができました。

私自身、MSWとして4年目を迎えようとしています。回リハ病棟のMSWとして「本当にこれでよかったのか」「こうしておけばよかったのではないかと振り返り、感じることの連続です。病気を発症して入院するという本人にとって人生の中の大きな出来事に対して、MSWとして本人の不安や思いに寄り添うことの大切さを改めて感じました。入院していれば患者さんですが、退院すれば地域で暮らす生活者です。MSWは生活者として暮らす人への支援者として専門性が求められているとも思いました。

またコロナ禍で会うことができない状況の中で、他医療機関のMSWと日々のシレンマや悩み、思いを共有することができ、今後もMSWとして患者さんとも向き合い、自己研鑽にも努めていこうと思えます。

コープリハビリテーション病院 糸川 菜月

## 財務部からのお知らせ

2021年度の会費納入をよろしくお願いいたします。

今月号のオムスワに同封している郵便振替用紙、または郵便局にある振込用紙に下記内容を記載したうえで、総会までに納入をよろしくお願いいたします。

- ★ 口座番号 01260-1-12282
- ★ 加入者名 岡山県医療ソーシャルワーカー協会
- ★ 振込人 ○○病院 岡山〇子 (所属名を必ず記入してください)

会費振込みについてご不明な点がございましたら、財務担当 水島中央病院 若林までご連絡ください。  
水島中央病院 Tel 086-444-3311

## 2021年度定期社員総会及び記念講演について

下記の日程にて2021年度社員定期総会を開催いたします。残念ながら、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大のため、会場参加者の安全を保てる会場の確保は困難で、通常規模での総会開催は断念せざるを得ません。やむを得ず人数制限のもと執り行いたいと考えております。総会及び記念講演の様子はライブ配信を予定しておりますが、ライブ配信での参加は会場欠席の扱いとなり、議決権は会場出席者へ委任することになります。議決権はありませんが、積極的にライブ配信でも総会にご参加ください。

なお、詳細は4月中旬以降に別途ご案内いたします。万障お繰り合わせの上ご参加ください。

◇2021年5月16日(日) 会場(岡山国際交流センター)及びライブ配信

総会 12:45~13:45

記念講演 14:30~16:00

日本福祉大学の保正友子教授の講演を予定しています。様々なストレスを抱えながら医療ソーシャルワーカーとして働く私たちに、「元気の出るお話を」とお願いしています。MSWの成長プロセスについて絡めながら、後輩指導についてもお話しいただけるとのことですので。

## 事務局からのお知らせ

### 【2020年度第8回理事会報告(2月25日開催)】

日時:2月25日(木)19:00~21:15

方法:ZOOMにてオンライン開催

議事:1.各部事業報告・計画

広報出版部…2020年度年報

研修部…研修報告・計画

財務部…財務報告

2.2021年度社員総会について

3.定款の改定について(書面評決)

4.倫理綱領の改定について

5.次期運営委員選出について

6.その他



## 【会員の異動】

ホームページ上では掲載していません。各所属機関に郵送した本誌をご覧ください。

※年度初めて入退会など異動がある場合は速やかに事務局までご連絡をお願いします。会員名簿で所属機関の会員を再度ご確認ください、すでに退職されている方については所属機関の代理の方で退会手続きをお願いいたします。

※4月より「A 会員入会届」「変更届」の様式が変更となっています。当協会ホームページよりダウンロードしてご利用ください。

岡山県医療ソーシャルワーカー協会（入退会・変更届書式） <https://omswa.org/?p=115>



☆今月の担当は、眞宮（光生病院）、和田（岡山労災病院）、福田（岡山西大寺病院）でした。

5月号の担当は、森川（つばさクリニック）、溝手（済生会吉備病院）、沼本（吉備高原医療リハビリテーションセンター）です。

尚、原稿を依頼される場合は、溝手（済生会吉備病院）のメールアドレスまでお送りください。

締め切り 4月20日（火）必着 溝手（kibisocial@saiseikaikibi.jp）

情報通信機器を用いたカンファレンス等に係る要件の見直し

令和2年度診療報酬改定 1-4 業務の効率化に資するICTの利活用の推進 ②

### 情報通信機器を用いたカンファレンス等の推進

**情報通信機器を用いたカンファレンス等に係る要件の見直し**

▶ 情報通信機器を用いたカンファレンスや共同指導について、**日常的に活用しやすいもの**となるよう、実施要件を見直し。

**【対象となる項目】**

- ・ 感染防止対策加算
- ・ 入退院支援加算1
- ・ 退院時共同指導料1・2 注1
- ・ 退院時共同指導料2 注3
- ・ 介護支援等連携指導料
- ・ 在宅患者訪問看護・指導料 注9
- ・ 同一建物居住者訪問看護・指導料 注4
- ・ 在宅患者緊急時等カンファレンス料
- ・ 在宅患者訪問褥瘡管理指導料

(訪問看護療養費における在宅患者緊急時等カンファレンス加算及び退院時共同指導加算も同様)

21

介護支援等連携指導料 400点

令和2年度診療報酬改定にて、情報通信機器を用いたカンファレンス等について、やむを得ない事情により対面で参加できない場合でなくても実施可能となるよう、要件が見直されました。

従来の上記指導料に関し、診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について、下記内容の見直しが行われました。

(以下、要件抜粋)

3. ここでいう介護保険施設等とは、介護保険の給付が行われる保健医療サービス又は福祉サービスを提供する施設であって、次の施設をいうものとする。(中略)

Ⅰ 介護保険法第8条第29項に規定する介護医療院

5. 行った指導の内容等について、要点を診療録等に記載するとともに、患者又はその家族等に提供した文書の写しを診療録等に添付する。また、指導の内容を踏まえ作成されたケアプラン等については、患者の同意を得た上で、当該介護支援専門員又は相談支援専門員に情報提供を求めることとし、ケアプラン等の写しを診療録等に添付すること。

(新設)

8. 当該共同指導は、当該患者が入院している保険医療機関の医療関係職種と介護支援専門員又は相談支援専門員が、患者が入院している保険医療機関において実施することが原則であるが、ビデオ通話が可能な機器を用いて共同指導した場合でも算定可能である。



コロナ禍で家族の面会や院外関連機関との面会に制限が続いていますが、途切れなく支援が行えるようICTを活用した連携手段がいろいろと行えるようになっていきます。

創意工夫を凝らしながら私たちソーシャルワーカーも「つなぐ」役割を發揮できるようにしていきましょう。